

(別紙4)

令和2年度愛媛県NPO法人活動助成事業  
【 協働事業助成 ( テーマ型 ・ 一般型 ) 】 \*○を付けてください

企画提案書

令和2年6月1日

次のとおり、標記事業について、企画提案書を提出します。

申請者 (事業実施 主体名)	法人名	*登記上の正式名称を記載してください <b>NPO法人ささえる</b>
提示テーマ	*テーマ型協働事業助成のみ記載してください	
連携・ 協働者	・主たる協働事業者を3者まで記載してください。 ・「種別」は、ボランティア団体、企業、地縁団体(町内会・自治会等)、公益法人、社会福祉法人、協同組合、 行政などの区分を記載してください。	
	(1)	団体名 正念寺 (種別) 宗教団体
	(2)	団体名 株式会社 笑照 (種別) 企業
(3)	団体名 株式会社 FESREC (種別) 企業	
総事業費及び 希望する県補助金額	総事業費 650,000円 (うち希望補助金額 500,000円)	
事業概要	申請事業の概要を100~200字程度にまとめて記載してください。 ひとり親や生活困窮世帯など経済的な理由により十分な学習支援を受けられない児童を対象として、月に1回「だれでも寺子屋」を開催し、お菓子作りや絵付け体験などの体験学習も含めた学習支援を行う。 その際に、連携団体と地域ボランティアによる昼食を無償で提供する。 (来場する対象者への配慮として、経済的理由等の記載は行わない)	
事業実施期間	交付決定の日から 令和3年3月15日まで	

## (事業計画等)

<p>1 事業の 目的・目標</p>	<p><b>(1) 事業の背景となる地域の課題を記載してください。</b> ひとり親や生活困窮世帯は、学校以外での学習の場や食事支援を受ける機会がほぼ無い。 また、コロナ感染の影響で学校の休業などが続き、学習格差が拡大していくことが予想されている。 そのため、こうした児童らの継続的な支援の場が求められている。</p> <p><b>(2) 課題を解決するための提案事業との関連について記載してください。</b> 学習ボランティアと無償での会場提供により継続的な学びの場づくりを行い、学習格差を少しでも軽減できるよう取り組む。 学習支援・食事ともに無償で提供することで、支援を必要とするこどもたちが参加できる。</p> <p><b>(3) 事業の目標（期待される成果）を記載してください。</b> だれでも利用できることで、学習格差が少しでも解消できることを期待している。 教材を利用した学習だけでなく、お菓子作りや絵付け体験などの体験学習も取り入れ、より幅の広い学びに繋がる。 また、地域や学生ボランティアとの交流によるコミュニティづくりも期待できる。</p> <p><b>(4) 目標達成のために工夫する点を記載してください。</b> 運営団体と連携団体は、協力企業や団体への呼びかけや食材確保等を中心にサポートを行い、出来るだけ学生ボランティアが主体となって活動が出来るよう支援を行う。 会場や教材・食材を出来るだけ無償で確保し、次年度以降も継続できるように体制を整える。</p>
<p>2 役割分担 (事業実施体制)</p>	<p><b>協働事業者との役割分担（具体的な連携内容）について記載してください。</b> 運営団体（NPO法人ささえる）は、全体的な事業運営・管理を行う。 正念寺は、会場の提供と食材の支援、運営サポートを行う。 株式会社笑照は、訪問看護ステーションたねの看護師をボランティアで派遣し、緊急時対応と運営面での人的サポートを行う。 株式会社 FESREC は、食材の支援と運営面での人的サポートを行う。</p>
<p>3 事業スケジュール</p>	<p><b>事業の進め方、段取り等が分かるように、いつ、どのような活動を行うのか、スケジュールを具体的に記載してください。（※別紙添付でも結構です。）</b></p> <p>6月より、ホームページやSNS・チラシにて学生ボランティアを募集。 7月中に、学生ボランティア・連携団体と運営会議を開催。 交付決定後、毎月第一日曜日、正念寺にて定期的に開催する。 (夏休みや冬休みなどの長期休暇時は回数増を検討中)</p> <p>開催1週間前を〆切として地域・学生ボランティアを募り、チラシや団体ホームページ、SNSにて告知する。 前日までに、学習や体験教材を運営団体と連携団体、地域・学生ボランティアで分担して準備する。 当日は10時から昼食づくりと教室の準備を開始し、16時に終了とする。</p>
<p>4 事業終了後の展開</p>	<p><b>助成事業が終了した後、どのように活動（協働）を継続していくのかを記載してください。</b></p> <p>会報を作成して事業内容を企業や団体等へ積極的に広報し、事業終了後も食材の提供や寄付により、自立運営出来る体制づくりを目指します。</p> <p>月1回の開催を週1回の開催とするなど、開催回数を増やせるよう、学生ボランティアを運営の中心として連携団体とともにサポート体制を構築します。</p>

5 事業の  
スキーム図

事業を実施していくうえで、協働先とどのように協働していくのか図で表してください

会場提供  
運営サポート

管理・運営  
人的サポート

正念寺

NPO 法人  
ささえる



地域の  
こどもたち

運営・食材提供  
人的サポート

運営・人的サポート  
緊急対応

(株)FESREC

(株)笑照  
訪問看護たね



学生ボランティア  
(松山大学  
愛媛大学など)

管理・運営  
学習ボランティア



## 事業収支計画書

## 1 収入の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
自己資金	150,000	*「愛媛県NPO法人活動助成事業費補助金」を加えてください。
助成金	500,000	愛媛県NPO法人活動助成事業費補助金
収 入 計	650,000	

## 2 支出の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
使用料賃借料 駐車場賃借料	10,000	
役務費 通信運搬費 保険料	50,000 20,000	チラシ・会報送付
旅費 交通費	50,000	講師、職員、ボランティア交通費
報償費 講師謝金 ボランティア謝金	30,000 80,000	講師3名×10,000円 ボランティア40名×2,000円
需用費 印刷製本費 消耗品費	60,000 230,000	資料、チラシ・会報印刷 事務用品、食材、イベント消耗品購入
備品購入費 備品費	120,000	イベント用備品購入(自己資金)
支 出 計	650,000	

※ 申請しようとする事業に係る収支計画(見込)を記載してください。

※ 法人全体の事業計画ではないのでご注意ください。